

研修レポート

名古屋市立大学病院 研修医

新城市民病院に来て4週間、長いようで思ったよりもあっという間の4週間でした。総合診療科という、一人一人の患者さんに向き合う科で研修することができて、とても良い経験になりました。初診の外来では、今まで救急外来でしかしたことのない診察を行い、その違いに初めは困惑しながらもなんとかやりきれた気がします。総合診療科の間診の仕方、特にこれまで気にかけてこなかったことを詳しく問診することや、カルテのまとめ方、患者の背景に合わせて検査や処方の方をを考え、フォローしていくという診療は必ずこれからの医師人生で役立つと思っております。この患者の背景まで考えて診察・診療を行うということが、特にこの新城市民病院のような地域医療においてかなりのウエイトを占めているのだと感じました。そして、入院患者さんを実際に担当させていただき、自ら調べながら考え、検査を行い、評価をしていくという一連の流れを経験することができ、入院管理での診療の幅が広がったと思います。

また、毎朝の勉強会、夕方のカンファレンスや振り返り、UpToDate勉強会、名郷先生を含めた医療面接やEBM勉強会はとても充実していました。夕方のカンファレンスではその日に見た自分の患者さんに対してすぐにフィードバックがしていただけて、知識を深め、いろいろな先生の考え方のプロセスなどを学ぶことができました。EBM勉強会ではあまり好きでなかった論文を読むのが、こんなにもクリアカットに読めるのかと驚きました。

院内の研修だけでなく、訪問看護や訪問リハビリ、往診に同行することで、知識としては知っていましたが、現場で実際にどのようなことが行われているかを実際に見ることができ勉強になりました。また、その道中からも地域の特性や問題点などを知ることができ色々と考えさせられました。

最後になりますが、新城市民病院でいろいろなことを学ぶことで医師としての考え方が深まったような気がします。この経験をもとに来年以降の医師としての働き方、そして患者さんに対して真摯に向き合う態度を考えていけたら良いと思います。総合診療科の先生方、コメディカルのスタッフのみなさん、本当にありがとうございました。